


監査報告書


財団法人 大竹財団
理事長 大竹 慶明 殿

平成19年 5月11日

財団法人 大竹財団

監事 明石由夫 

監事 大東 断 

監事 額賀正己 

私たちは、平成18年4月1日から平成19年3月31日までの平成18年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法と概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不整の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事項はないと認める。

以上